

第10回(一社)障がい者武道協会理事会・総会 2018.10.28 浜松市市民協働センター

(一社)障害者武道協会の平成30年度総会が10月28日に浜松市の市民協働センターで開催された。中島代表理事(国土館大学元教授)の挨拶の後、議事に入り平成29年度の事業・収支報告、平成30年度の事業計画・予算の説明があり何れも異議無く承認された。

役員改選では、新代表理事に松井完太郎国際武道大学教授のほか役員案も承認された。

松井新代表理事は、国際武道大学体育学部長で空手道部部長を務めている。

総会後の事業報告では、副代表理事で(社福)わらしべ会の丸山正雄理事長から今年9月に日本で初めて開催された第1回全日本ID(知的障がい者)柔道選手権大会について報告があった。

大会は11府県から16~49歳までの男女35名が参加し2日間に渡って開催され、初日に合同練習で障害の程度を判定し組み合わせを決めて2日目に試合を行った。

全国で知的障害者柔道を行っている都道府県は15あるとのことで、今後、拠点づくりをどのようにしていくかが大事との話があった。

続いて、松井新代表理事より障害者武道協会の7つの論点と題して話があった。大会等の競技の一方で稽古を通してモチベーションを維持する仕掛けとして級位や段位が必要、どうすれば初段が取れるとか何をすれば7級が取れるかなど級・段位のデザイン、特別支援学校へのアプローチ、政府が進めるスポーツを通じた国際貢献事業であるSPORT FOR TOMORROW2020等々について話があり、ほかにも、コーチの資格、理解等についても話が及んだ。

障害を持った方も武道やスポーツをしてみたいと思う方も多くいるが、あきらめてしまったり、指導者もケガや事故を気にするあまり断ったりと障害者スポーツを取り巻く環境は厳しいものがある。「障害者を受け入れることは危険ではない」、障害者にとっても武道やスポーツができる環境づくりを目指している。



代表理事
中島たけし国土館大元教授挨拶



新役員の代表理事と副代表理事 挨拶



顧問就任



H30年度 役 員

役 職	役 職	氏名（敬称略）
代表理事	代表理事	松井 完太郎
副代表理事	副代表理事 (4名)	森脇 保彦
副代表理事		濱田 初幸
副代表理事		丸山 正雄
副代表理事		大橋 正康
常務理事	常務理事 (6名)	橋本 昇
常務理事		角杉 昌幸
常務理事		植原 吉朗
常務理事		小林 正希
常務理事		下村 洋
常務理事		柏崎 克彦
監事	監事 (2名)	岩堀 博志
監事		花井 和夫
事務局長	事務局長	徳安 秀政
事務局次長	事務局次長 (2名)	辻 和也
事務局次長		初瀬 勇輔

顧 問		
最高顧問	中島 躰	国土館大学元教授
顧 問	塩谷 立 ポントス・ジョハンソン 大橋千秋	元文部科学大臣 国際障害者武道協会 世界拳法会連盟会長